

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN 2013-2014 WEEKLY REPORT

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 白藤 憲雄 ■幹事 / 本多 利郎 ■会報・雑誌・広報委員長 / 安藤 修
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

2013-14年度 国際ロータリー会長 ロンD.バートン

第1060回

2013年8月27日(火) 晴 第8回

～ 会員増強及び拡大月間 ～

斉唱 それでこそロータリー
出席 会員56名(出席率算入人数47名)
出席37名 出席率78.72%
前々回補填率96.15%(8月6日分)
ゲスト 米山奨学生 林 怡伶さん

8月の誕生日

2日 有川 英敏さん 11日 白坂 修二さん
11日 三浦 和人さん 14日 加藤 英敏さん

配偶者誕生日

2日 鈴木光世子さん 13日 太田加代子さん

8月の結婚記念日

10日 浅井 浩さん 12日 白藤 憲雄さん

会長あいさつ

会長 白藤 憲雄さん

皆さま、こんばんは。本日は会員増強・職業分類委員長、入谷さんによる卓話です。会員増強は会員の皆さまもその使命を忘れないでいただきたいと思います。

話は変わりましたが、私はオーストラリアが好きなので12～3年前からゴールドコーストへ年に1回ぐらい行っています。常宿にしている所はブロードビーチの『メリトン』と言うコンドミニアム型のホテルです。

オーストラリアはハワイと違って時差が1時間です。物価も安く、現地人はとてもユーモアが多いです。日本のように買い物したら1時間サービスとか、2時間サービスとかのシステムになっています。時間を少しオーバーしてもサービスしてくださり、「エンジョイ アフタヌーン」と言う感じで声をかけてくれるのです。日本ではこんなユーモアのある駐車場の係りの人は少ないかな…と思います。つまらない話ですが本日の会長あいさつとさせていただきます。



幹事報告

幹事 本多 利郎さん

1. 海外出張届けが出ています。東山 直史さん、行き先はニューヨークで8月23日から31日までで商用です。
2. 昨年度より東日本大震災の被災高校生支援ということで3年間の継続事業で今年は2年目です。36万円ニコボックスより振込致しました。
3. 9月のロータリーレートは100円となっております。
4. 2760地区の俳句大会が11月3日にウインクあいちにて行われます。興味のある方は事務局までお知らせください。締切が8月30日になっておりますので、よろしくお祈りします。

ニコボックス

- ◆ 今月は会員増強及び拡大月間、入谷委員長卓話楽しみにして居ります。頑張ってください。

小山 慎介さん

- ◆ 残暑お見舞い申し上げます。朝、晩は過ごし易くなりました。

新原 尚さん 三浦 隆さん 浅井 浩さん
久米 伸治さん 出田真太郎さん 杉本 勇さん
本多 利郎さん 長尾 浅吉さん 佐々木元彦さん
加藤 英敏さん 川瀬 悟さん 白藤 憲雄さん
野々村憲吾さん 伊藤 圭一さん 中村 勝さん
江松 央統さん 細井 俊男さん 白坂 修二さん
犬飼りさ枝さん 武藤 正行さん 坂本 晃さん
佐々木 暢さん 川辺 清次さん 鈴木 一博さん
大平 明子さん

本日合計 31,000円 累計 293,000円

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

委員会担当卓話

■会員増強・職業分類委員会

委員長 入谷 直行さん

皆さま、こんばんは。増強については、当クラブの小山 慎介さんが地区の会員増強リーダーで、この会員増強リーダーは地区委員長よりも上で、その上にガバナー補佐がおみえになりますが、実質的には地区の会員増強のトップということですので。そいう

う方がここにおられるにも関わらず、私がここで皆さまに増強についてお話するのめどうかな?と思ひ小山さんにも相談しましたが、「地区は地区。クラブはクラブ。だからやりなさい!」との事でしたので、色々手元の資料をもとにお話させていただこうと思ひます。



私の本来最初の仕事は会員増強セミナーに出席するという事だったので、残念ながら出席できません、副委員長坂本さんをお願いしましたが都合が悪いとの事だったので、委員の大ベテラン、伊藤圭一さんをお願いしたら了承していただきました。今日はその時に伊藤さんからいただいた資料を元に少しお話させていただきたいと思ひます。増強のお話は大変重要ですが、残念ながら面白くありません。堅苦しいですが、最後まで退席せずにお聞きくださるようお願いしたいと思ひます。

まず、クラブ計画書の今年の方針のところをお話させていただきます。とにかく、会員数の減少が止まらないので何かと増強!増強!となっています。職業分類も未充填職業を入れるとなっていますが、今はそれよりも「数」です。入ってもいいかな?と思われる方は体験例会にお出でいただいています、これは同時に我々がどんな方が入会希望なのかをご確認いただくという意味合いもございますので、場合によってはお断りすることもあると思ひます。誰でもいいから入れれば良いということではありませんので、体験例会は双方が様子を確認する場にすることを必ず体験していただくことにしたいと思ひています。

入会金が宮壽年度から18万円から10万円に下がりました。その方が入りやすいだろうということです。これについては賛否色々あると思ひます。ただ、入会されると20年、あるいはチャーターメンバーで色々精神的にも肉体的にも金銭的にも貢献してきた方と同等の権利を得ることになるわけで、そう言う意味では個人的な意見としては入会金が少々高くてもいいのではないかなと思ひます。我々も同業者の会に入会すると入会金に200万円なんていうものもあります。資産がある程度ある組織に入ると、同等の権利を得るわけですからそれなりのフィーを頂戴しないといけないのではないかなと思ひます。ですが、あまり敷居を高くしてはいけないということなので今は18万円が10万円になっているので、皆さまが誰かに紹介される時には「入会金が安いよ。」と言えらと思ひます。

それから、1つのテーブルを談話コーナーで使っていますが、去年まではコーヒーが出ていましたが今年からは緊縮財政で増強の予算はゼロになっていますので出ていません。計画書に、年度末の人数が10-11年度で59名、11-12年度で59名、12-13年度で55名です。残念ながら少しずつ減っています。今年度については、先年度の終了時点で55名、白坂さんをご入会なさったので56名になっています。今年度の目標が純増1で、RI会長賞の条件の一つです。このままいけば純増1です。純増1はあくまでも目標なのでなるべく多くの方が増えらと思ひます。

クラブ計画書の冒頭のページにRI会長の今年のテーマが載っていますが「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」となっています。強調事項として1.2.3となっていますが、1が会員増強の推進でRIでも会員増強が最も重要なテーマであると位置付けております。この計画書の中にRI会長が国際協議会で挨拶された文章が2ページに亘ってでております。挨拶の3分の1が会員増強についてお話になっています。お読みになってない方がいらっしゃると思うので、会員増強に関わる部分だけ掻い摘んでお話し上げたいと思ひます。

RIの会長ロンD.バートンさんは、高校時代にキー・クラブに所属して一生懸命活動していたそうです。アメリカではキワニスと言う有名な社会奉仕団体があり、ロータリークラブ、ライオンズクラブに並ぶクラブで、いつか自分はキワニアンになると思っていたそうです。ところが、キワニスからは一切誘いがなく、オクラホマのノーマンロータリークラブから誘いがあったのでロータリーに入るようになったそうです。やはり、「誘わないといけない、勧誘してくれたから私はロータリーに入った」と強調されています。勧誘するにあたっては皆さま少なからずそういう意識がお有りかと思ひますが、「増強委員がやるだろう」とか「会長・幹事がやるだろう」「顔の広い人、隣の人がやるだろう」とついつい考えがちです。私も増強委員をやるまでは少なからずそう言う意識がありました。「誰かがやるだろう」では絶対に集まりません。勧誘は容易ではありませんので、常に若い人を見ると「ロータリーに勧誘しよう」と考えます。入会に漕ぎ着けたら今度はロータリーをエンジョイできる環境を作ってあげないといけないというような事も仰っておられます。

全世界で1年に12万人ぐらい入会されるそうですが、残念ながら12万人ぐらい退会されているそうです。全世界で15年以上120万人から数が動かないそうです。会長に言わせると「玄関から入ってすぐ裏口から出て行ってしまふ」みたいでなかなか増加につながりません。とにかく、退会を食い止めることが大事だと思ひます。RIの目標としては2015年までに130万人、ですから今の120万人からあと10万人なんとか増やしたいと言う事です。人数という何かまとまった事業をしようとするとしても頭数や金銭が必要になるので、どんどん減ってしまふ事になるとやりたい事業も出来なくなり、ロータリーの存在意義も薄れてしまふので危惧しているということです。それから、女性会員をもっと増やしたいと仰っておられます。1987年のバブルの終わり頃に女性の入会をOKしたそうです。ところが、残念ながら当クラブのように女性会員が楽しく参加しているようなところがなかなか世界ではないようで、もう少し女性のロータリアンを増やしたいということも仰っておられます。

それからもう1つは時代を担う若い人をなんとか勧誘したいということです。ローターアクトやインターアクト、RYLAセミナー受講生、青少年交換留学生、財団奨学生をロータリアンにしていかなければならないと仰っておられます。これはなかなか現実には難しく、例えばこの中にローターアクト出身の方いらっしゃるでしょうか?過去をさかのぼってもいいと思ひます。本日、米山奨学生の方もお見えになっていますが、学友会(奨学生の卒業生)があ

り、そこからも勧誘したり、学友会のメンバーを集めて作ったクラブで中部名古屋みらいのRCがあり、これは地区やロータリー全体にとって増員につながっているのが良いことだと思います。ローターアクトのような若い人をなんとか我々のところへ引っ張れるといいなあと思っています。

そして、時代はどんどん変わっているのだから柔軟に対応しないといけないと言うことで例会の時間を変更したり、例会場を変えたりと色々な形を見直すべきだとの事です。従来のままずっと同じパターンを繰り返しているのではなかなか新しい方、特に若い方を勧誘するのは難しいのではないかとっておられます。自分なら今このクラブに入会したいのか?と自問して欲しいと仰っています。やはり、面白く楽しい意義のあるクラブでないといけないということです。

今、テーブルの上に置いてある“SAKUJI作戦”とは、この地域にはロータリーの知り合いがいなくて遠方にいる場合、その地区へ紹介して地区で割り振りしてもらう制度です。田中作次さんの年度に行われていたのですが、昨年までは認識が薄く当地区で紹介件数が10件以下だったそうです。用紙があるので入会希望者の名前など書いていただくとその地区へその用紙を回します。当クラブは小山さんのリードで田子さんがSAKUJI作戦により東京からの紹介で入られたそうです。とにかく、誰かがやるということではなく自分がやるという気持ちでお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

第 1062 回例会 (9月10日) のご案内

イニシエーションスピーチ

佐々木 暢さん